

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/10/25

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.68	-0.13
JPY/THB	0.2218	0.0004
USD/JPY	151.83	-0.93
EUR/THB	36.48	0.01
EUR/USD	1.0828	0.0046
USD/CNH	7.124	-0.011
SGD/THB	25.55	-0.03
AUD/THB	22.36	-0.07
USD/INR	84.08	-0.01
USD Index	104.06	-0.37

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.216	0.019
10Y (THB)	2.425	0.009
5Y (USD)	4.032	-0.025
10Y (USD)	4.212	-0.034

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,734.9	20.5
WTI (Oil)	70.19	-0.58
Copper	9,507.0	-14.5

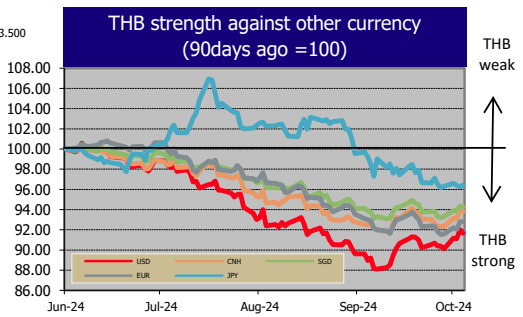
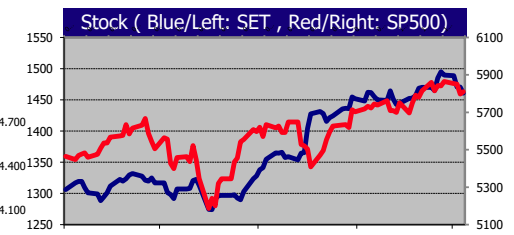
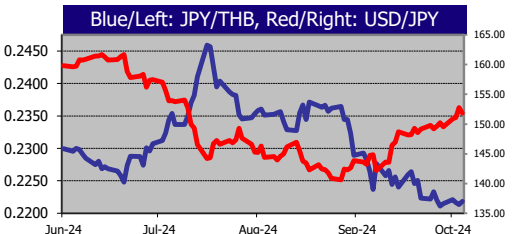
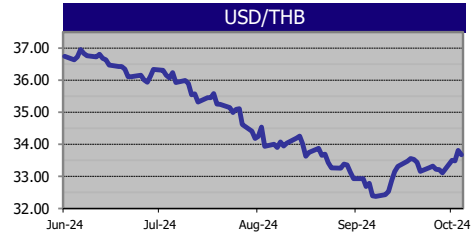
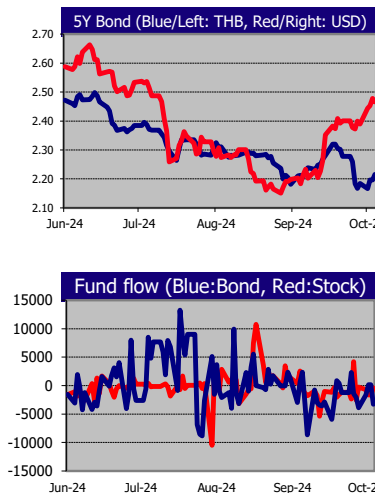
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,460.64	-9.68
NIKKEI (JP)	38,143.29	38.43
DOW (US)	42,374.36	-140.59
S&P500 (US)	5,809.86	12.44
SHCOMP (CN)	3,280.26	-22.54
DAX(GER)	19,443.00	65.38

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(398)	1247.3
Bond net flow	(3,298)	-3463.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。33パーツ台後半の水準で取引を開始すると、高水準で推移していた米金利が低下する動きを背景に上値重く推移。バンコク時間午後には、タイ政府が要請している同国インフレターゲットの変更について、タイ中銀高官より「同目標は依然適切な水準」であることから、変更する必要はない旨の発言が伝わったこともあってか、33パーツ台半ばまで下げ幅を拡大させた。ただ、海外時間に入ると、新規失業保険申請件数をはじめとした、米経済指標の市場予想対比良好な結果を受けて小幅に反発。結局33.68レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。152円台後半の水準で取引を開始。米金利の上昇に一旦の歯止めがかかる中、ドル円の上昇も一服する展開。バンコク時間午後には152円を割り込み、海外時間に入ると、米経済指標の堅調な結果を受けて反発するも、直ぐに下落に転じる動きを見せた。一時151円台半ばの水準を付けると、終盤にかけては小幅に反発し、結局151.83レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の当欄では米大統領選の状況に少し触れ、米国要因が円安地合いを持続させる可能性について考えてみたが、円相場に影響を与えそうな目先のイベントとしては今週末27日投開票の本邦衆議院選挙も挙げられるだろう。ただし、選挙後の金融市場の反応については見方が分かれるところであり、投機筋にとっては事前にポジションを傾けにくいイベントとなるかもしれない。選挙結果のコンセンサス自体は、自民党・公明党で過半数維持のシナリオのようだが、その場合の、特に金利の動きについては、財政拡張等を拠り所とした金利上昇と、新政権が支持率を気にして金利上昇を許容しないとの思惑を拠り所とした金利低下とで予想は分かれているようだ。他方、株と為替については、いずれにしろ新政権は短期的には国民に受ける政策を優先するであろうことを見越し、概ね株高、円安を予想する声が多い。また、リスクシナリオとしての、自民党・公明党で過半数割れ、の場合の反応も概ね一致しており、日本の政局流動化を懸念した株安・円安・債券安のトリプル安を想定する見方が多い。今月30、31日は日銀の金融政策決定会合も予定されており、来週は日本の材料を注視する1週間、11月1日以降は米国で雇用統計、大統領選、FOMCとビッグイベントが続くため、米国を注視する1週間となりそうだ。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.